

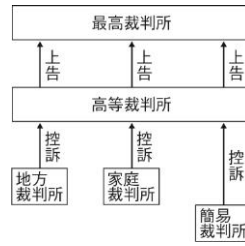
No.37	社会科基礎力強化シート	年 組
	(法を守る裁判所)	氏名

/10問
------

次の ( ) に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 対立を第三者の判定により解決することを (①) という。適正な手続きにより、法に基づいて裁判を行う権限を (②) といい、(③) が担当する。

2 日本では、(④) が採られ、判決内容に納得がいけない場合、控訴や上告をし、3回まで (①) を受けることができる。



(④) のしくみ (刑事裁判)

3 日本国憲法では、人権が侵害され、個人の力で解決するのが難しい場合、法に基づいて公正に判断してもらうために、裁判所に裁判を行うように求める (⑤) が保障されている。

4 裁判が公正中立に行われるために、裁判所や裁判官は、国会や内閣、その他どのような権力からも圧力や干渉を受けない。その原則を (⑥) という。また、裁判官は、(⑦) と法律のみに拘束され、良心に従って裁判を行う。

5 裁判官は、職務を果たせなかったり、裁判官としてふさわしくない行為をしてしまったりした場合に、国会に設置される (⑧) 所で (⑧) が開かれ、そこでの判断によってやめさせられる場合がある。

6 日本国憲法は、国の行為が憲法に違反していないかどうかを判断する (⑨) 権を裁判所に与えている。その中でも、最高裁判所は、(⑨) についての最終的な決定権をもつことになるので、(⑩) ともいわれている。

裁判所にはどのような役割があるのかをおさえておこう。



【解答】

- ① 裁判
- ② 司法権
- ③ 裁判所
- ④ 三審制
- ⑤ 裁判を受ける権利
- ⑥ 司法権の独立
- ⑦ 憲法
- ⑧ 弾劾裁判
- ⑨ 違憲審査
- ⑩ 憲法の番人